

# 震災に便乗した詐欺に注意!

東日本大震災の発生に伴い、災害義援金や見舞金の名目で現金をだまし取る詐欺が発生しているほか、震災に便乗した商法や、高齢者・子どもを狙った不審電話・メールが増加していますので、十分にご注意ください。

## 1 義援金・支援物資名目の詐欺

市役所の職員を名乗る人物が、義援金を求めて訪問してきたり、義援金名目で金銭の振込を依頼する電話があった。

「換金して義援金にする」「被災地で不足している医療器具に利用する」という名目で金・プラチナなどの貴金属や宝飾品の寄付を求められた。



自治体などの公的機関が義援金を求めて訪問したり、電話をかけることはありません!

全てが義援金詐欺とは限りませんが、個別に義援金を求められた場合や、義援金名目の商法には、十分に注意することが必要です。

義援金や支援物資を送付する際は、送付先が信頼できる団体か必ず確認しましょう!

## 2 震災に便乗した振り込め詐欺

被災した親族をかたった「震災で壊れた建物を直すのに金が足りないので、貸してほしい」という電話を信じ込み、高額な現金を騙し取られた。

息子を名乗る男から「会社で集めた義援金を寄付しに行く途中で落としてしまったので弁償しなければいけない」という電話があった。



振り込め前に  
**110番!**



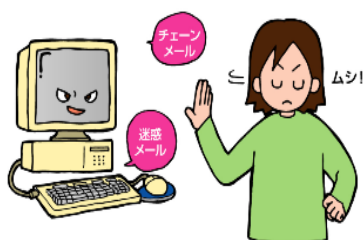
震災後、親族の被災者を装ったり、義援金等の話題を利用するなどの新たな手口で、全国的に振り込め詐欺の被害が発生しています。

今後も新たな手口が生まれると予想されますので、金銭を求める電話があれば、事実確認を徹底するなど、冷静に対応しましょう。

### 3 震災に便乗した架空請求・チェーンメール

「地震速報」というタイトルのメールが届き、表示されていたアドレスをクリックしたところ、アダルトサイトにつながり、突然「利用料金1万円を払うように」という表示が出た。

子どもの携帯電話に、友人から震災の募金や支援物資の協力を要請するメールが届き、同じ内容のメールを10人に送信するよう書かれていたが募金先は聞いたことのない団体となっていた。



震災情報を装って架空請求サイトに誘導する悪質メールなどが発生していますので、すぐに金銭を支払ったりせず、お住まいの警察署や消費生活センターなどに相談してください。

多数の人へのメール転送を強要する「チェーンメール」は、内容の真偽が不明であり、被害を拡大する恐れがあるので、善意の有無にかかわらず、絶対に転送しないようにしましょう。

### 4 その他発生が予想されるもの

耐震診断・耐震補強を名目にしたリフォーム詐欺や強引な点検商法等に関するトラブル

震災に関連した儲け話を持ちかけて、投資させたお金を騙し取る投資詐欺

放射能等の健康被害を煽った健康食品や健康器具などの販売に関するトラブル



過去にも大規模災害の後には、災害に便乗した詐欺行為や悪質商法が多発しており、それらの被害は、被災地から離れている兵庫県でも無縁ではありません。

不確かな情報に惑わされないように、警察や消費生活センターなどの公的機関が発表する最新情報を確認するようにしてください。

今回取り上げた事例は、ほんの一例であり、インターネット等のツールを使用するなど、その手口はますます巧妙化していますので、震災に便乗した詐欺等の事案については、今後も引き続き注意していく必要があります。

特に、相談する相手のいない独居高齢者や、判断能力が未熟な子どもたちが被害に遭う可能性が高いことから、これらの被害を防ぐために、日頃から、地域住民の間で交流を深めて情報を共有化して、お互いが注意し合い、地域全体で一丸となって被害を防止しましょう！